

■ 目的

- 福島第一原子力発電所4号機使用済燃料プール（SFP）からの燃料取り出し前に、がれき落下の状況や上部タイプレートの変形状況などから、燃料集合体の取り扱い上問題ないことを確認している。
- 今回の調査では、燃料健全性および燃料取扱上の問題がないことを再確認するために、共用プールにおいて燃料集合体を覆うチャンネルボックスを取り外した上で外観点検を実施する。

■ 点検時期

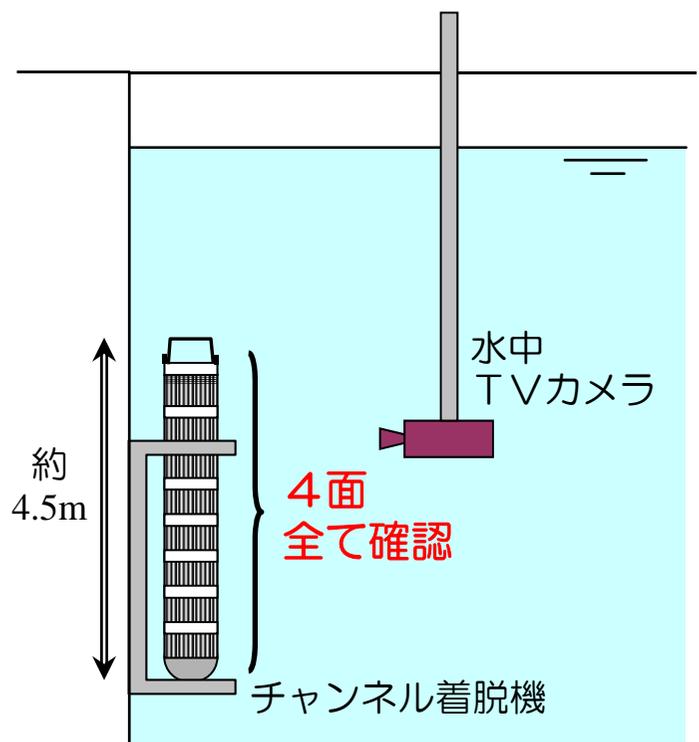
平成26年4月22日，25日

■ 点検内容

- ① 4号機SFPに保管していた燃料タイプそれぞれについて1体ずつ選択する（計4体※）。
- ② 燃料集合体を貯蔵ラックからチャンネル着脱機へ移動し、チャンネルボックスを取り外す。
- ③ 水中カメラを用いて外観点検を実施する。
- ④ 点検終了後は、チャンネルボックスを取り付けて元の位置に戻す。

※（7×7燃料は本点検の対象外）

水中カメラによる点検方法



■点検対象

4号機SFPに保管されていた以下の燃料タイプについて1体ずつ選択

- 8×8燃料
- 新型8×8ジルコニウムライナ燃料
- 高燃焼度8×8燃料
- 9×9燃料（B型）

■点検対象箇所

- 燃料集合体の荷重伝達箇所（結合燃料棒・上下部タイププレート）の腐食、損傷状況を確認する。
- 燃料棒間隙の状況を観察
- 可能な範囲でがれきの混入状況を観察

■点検方法

- 水中TVカメラによる外観検査
- 透過法（燃料間隙の状況を観察）